

させぼ夢大学

発行●させぼ夢大学広報委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555
FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

お尋ねテレホン 25-9556

夢のつづき

させぼ夢大学会報

No.184 <2010・6>

平成22年度
第3回

2010年 **6月17日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後 5:30
●夢のひろば 午後 6:00
●講 演 午後 6:30

今回の講師には、皆様お待ちかねの日本を代表する俳優、歌舞伎役者、舞踊家の九代目 松本幸四郎さんをお迎えします。

歌舞伎ではお家の高麗屋の芸を継承され、平成20年 奈良東大寺にて勸進帳1000回上演を達成し、現代劇やミュージカルでの活躍も目覚しく、海外ではニューヨーク・ブロードウェイで『ラ・マンチャの男』の主演を、ロンドン・ウエストエンドで『王様と私』の主演をそれぞれ英語で演じ、特に「ラ・マンチャの男」は今日までに1149回の上演を数えています。

また、演劇企画集団・シアター・



©関暁

ナインスや、歌舞伎企画集団・梨苑座を発足させるなど、舞台芸能の創造者としての存在も大きく、九代目松本(くだいきんしょう)の名で舞台演出も行っておられます。

さらに、七代目 市川染五郎は長男、女優の松本紀保さんと松たか子さんは長女と次女にあたる方で、まさに芸能一族の長といえるお方です。テレビでは大河ドラマ「黄金の日」や連続ドラマ「王様のレストラン」等のヒット作も多く、その松本幸四郎さんに夢大学の舞台上で間近にお会いできるチャンスです。

乞うご期待!

まつもと こうしろう
歌舞伎役者●松本 幸四郎氏

テーマ●男60歳からの夢こそ…



《お相手》

歌舞伎キャスター 鈴木 治彦氏

今回のトークショーのお相手は、司会・トークショー・テレビ・ラジオとマルチに大活躍のおなじみの鈴木治彦さん。

鈴木さんは昭和4年、神奈川県生まれ。30年、慶應義塾大学経済学部卒業と同時に、ラジオ東京(現TBS)アナウンサーとして入社。相撲放送の仕事を経験し、舞台、ディスクジョッキー、寄席番組などの担当を経て、40年からテレビのワイドショーの司会に起用され、その手腕は高く評価された。

46年からの13年間は「奥様8時半です」のメインキャスターとして多くのファンの支持を得、「TBSの顔」として大活躍した。

59年、TBS退社後もTVコメンテーター・フリーキャスターとして、NHKのテレビ・ラジオに出演する他、歌舞伎の解説やトークショーなど幅広く活躍中である。著書に「宝塚に愛をこめて」他多数。

松本幸四郎 氏のプロフィール

●昭和17年東京都生まれ。56年、九代目 松本幸四郎を襲名。当たり役に「勸進帳」の弁慶など。現代劇やミュージカルなど多方面においても活躍が目覚ましく、ブロードウェイで「ラ・マンチャの男」を日本人初の英語で主演。イギリスのカンパニーでの「王様と私」も主演参加。演劇集団「シアター・ナインス」、歌舞伎企画集団「梨苑座」を設立するなど、その才能を遺憾なく発揮している。芸術院賞、ゴールデンアロー賞など多数受賞。平成17年紫綬褒章受章。21年日本芸術院会員。





宮川花子氏

大助なしでは語れない

大瀧町 松尾 真彦

花子さんのテンポの速いつつこみと、茫洋としたボケの大助さん、個性味あふれる漫才にいつも大爆笑。その都度さわやかさを感じるのには私だけではないでしょう。

だが一寸気になるのが、日常のご家庭でのこと。そのことを花子さんは「みんな関心があるようだけど、男の性質、女の性質だ」とおっしゃった。深みのあることばだ。これまでのヤジウマ根性は一変した。生理的なことは当然ながら、精神的に人として、女は女とし



■大いに笑えた、楽しいひと時。私も同じマラソンランナーで、座右の銘は「人生はマラソン」。「大助・花子」の、波乱の人生を乗り越えてきたバイタリティーと、前向きな生き方に共感し、大拍手！
南風崎町●横山 春美

■大助さんなしでは語れない話は、仕事の疲れも吹きとぶくらい笑いました。お腹いっぱい笑いました。漫才が自分を助けてくれると語る前向きの人生、すばらしい！昔も今も大助・花子大好きです。夢大学で会えて嬉しかったです。
江迎町●山口 美津枝

■花子さんのお話で大笑いしました。日頃のストレスが吹きとぶほど笑ったのは初めてです。テレビの花子さんの「しゃべり」もすごいと思っていましたが、今日の夢大学の「しゃべり」は天下一品!! テレビで拝見するより本当に感動する舞台でした。
春日町●有吉 成子

■テレビでお二人を見る限り「かかあ天下」を否めないところだが、今回の講演で亭主関白でもなく、かかあ天下でもない、家庭の中で花子氏の役割がかなりのウエイトを占めていることが判った。「稽古熱心な大助です」「大助あっての花子です」と憚らず言われるとおり、夫唱婦隨のいいカップル漫才で、今後も笑いを発信し続けてほしい。講演後「皆さんの笑顔をお土産にして帰ります」と言われ、手を振って見送っていただいた。
京坪町●太郎浦 幸子

■リーブルミュージックも癒されました。大ファンの花子さん有難う。元氣やピタミンを沢山いただきました。お二人の手術等のトラブルを乗り越えられたことに感心しました。笑いの渦に巻き込まれ、話の一言一言にうなずくことばかりで、ストレスも消えてしまいました。夢大学に入学して感謝です。
上町●松尾 雅子

■花子さん30周年おめでとうございます。お二人とも大病をして、その中から立ち上がり、漫才を今まで見て、そのそぶりも見せず、さすがプロだと感動しました。最後にご自分で衣装を作られたと聞きビックリしました。
桜木町●原 尚子

■とても素敵なお話でした。そして花子さんのお話にウンウンとうなずき、涙を流しながら笑いました。漫才師といわれる職を持たれて本当に幸せですね。これからも楽しくテレビの前で応援しています。
木風町●西 照美

■頂点に立ちながら病に倒れ、一緒に過ごせる空間を見出し、共に病と闘いつつも深い絆のもと、心楽しく、またお互いが傷つかないような心配りと励まし合いで、常に前向きなライフスタイルで大感動し、且つ大喝采のひとつを有難うございました。
折橋町●田口 清紀

花子流夫婦論

栄町 東 節子


ご自分で作られたという薄紫のワンピースを軽やかに召した花子さん。近藤理事長が開口一番おっしゃった通りのステキな美人でした。色々あったであろうご苦労の影は微塵も見せない明るい笑顔で講演が始まりました。思いもかけず、大助さんが脳梗塞を発病された時の不安感、悲愴感、焦燥感。然も奇跡的ともいえる運の強さで大事に至らなかつた時の状況も、切々と話されました。其の後、花子さんの必死なご看病の末、少しずつ快方に向かつて現在は、又大助さんと夫婦漫才が出来る迄に復活。然し何よりも健康が大切である事を痛切に実感なさったところからです。ところがここからがスゴイ！糸の切れた風のように言いたい放題。破れかぶれの夫婦論。世間一般の善良なる旦那サマにとっては、ご自分の立場はあつてなきが如しの状況であり乍ら、花子さんのあつてからかんとした毒気に打たれて、

花も嵐も乗り越えた夫婦愛



しゃべり漫才は天下一品！

次回のご案内



■と き／7月22日(木)
 ■講 師／新渡戸文化短期大学学長
 なかはら ひでおみ
中原 英臣氏
 ■テーマ／医者しか知らない危険な話

●昭和20年東京都生まれ。45年慈恵医大卒業。医学博士。52年から2年間、セントルイスのワシントン大学でバイオ研究に取り組む。現在、新渡戸文化短期大学学長、早稲田大学体育局講師、日本体育協会公認スポーツドクター、産経新聞「正論」執筆メンバー等として多方面に活躍中。「元気がうれしい健康知識」（集英社）、「医者しか知らない危険な話」（文藝春秋社）など多数。

夢のひろば

◆日 時／6月17日(木) 午後6時00分～20分
 ◆演 目／軽音楽
 ◆出 演／サンディトリップ (Sandy Trip)
 AYUMI／ボーカル等
 KAZU／ギター、ベース、パーカッション等

◆出演団体紹介
 サンディトリップは1999年1月に結成された、佐世保市在住の男女ユニット。数々のバンドコンテストで優勝しライブ活動に励む。地元長崎をはじめ、九州での音楽活動、ラジオ、テレビ出演を精力的に行い、老若男女を問わず幅広いファンを持つ。地元佐世保在住だからこそ生まれるオリジナリティー溢れる、サンディトリップの楽曲が小学校で合唱されるなど、活動の幅も広がっている。
 2008年から佐世保観光ふるさと大使に就任し、佐世保を大いに宣伝している。

◆曲 目
 1. 「風音(かざおと)」 作詞：AYUMI 作曲：KAZU (九十九島イメージソング)
 2. 「海きらら」 作詞：AYUMI 作曲：KAZU (西海国立公園九十九島水族館テーマソング)
 他

抱腹絶倒の90分！ 前向きな夫婦愛に感動！！

会場は大爆笑の連続でした。然し其の笑いの中に、真実の夫婦のあり方やほとぼりする家族愛、そして真摯なる人生論が沢山沢山詰まっていた事に胸があつくなる程感動致しました。

思い起こしてみますと、平成四年、夢大学の第一回は草柳大藏さんでしたが、私は其の時から十九年間毎年参加しています。これはとりも直さず夢大学に魅力があつて人選が最高だからだと思ひます。日本各地の中でも貴重な存在であるさせば夢大学は郷土の大きな誇りと言えましよう。いついつ迄もより一層の発展を願つて止みません。

そして超超後期高齢者である私も、年齢制限が実施されない限りは、夢大学の学生であり続けたいと願つている今日此の頃でございます。

宮川花子さん ようこそ！
 京坪町東 裕子

長崎の地図にも載っていない場所へ？…ようこそ！一人で、ぴっちりしゃべくりの1.5時間。さすがでした。よくもまあ、面白い言葉が次々と出てくること；漫才師とはいえこれはもう、頭が良くないと到底出来ない芸だと感服！立派でした。本当に！

古女房ともなるとドツカと家の中心に腰をすえ、「亭主元気で留守がいい」と、どこかで聞いた様なコマシーシャルの台詞…。花子さんは、結婚歴も長い、夫の心情、妻の心情をバツサリと斬られ、その中身があまりにもリアルで会場大爆笑…。隣にいる夫の横顔をチラリ、心情・如何に？…少し気の毒…(フフ



フ！) 大助さんの病氣、介護、そしてご自身の病氣など数々の苦勞も意とせず、こうして花子さんは一人でしゃべくり…；今あるのも大助さんのお陰…；と且

講演を聴かれた感想をお待ちしています！

※締め切りは講演日の1週間後(必着)
 ※宛先は、させほ夢大学事務局まで

那さまを立てられた。今の日本は余りにも平和すぎて、男女平等とはいえ、花子さんがおっしゃるように、男の性質、女の性質の違いを少々勘違ひしているのでは…。男にしか出来ないこと、女にしか出来ないことを、再度、一

考して明るい家庭を築いていかねば…と、真の夫婦のあり方を花子さんから教えられた思いでした。

これからも、お二人のますますのご活躍を楽しみにしております。手編みの衣装も素敵でしたよ。

平成22年度 第19期 させほ夢大学 受講生プロフィール

④ 住所ベスト10

10 日野町	33
10 松瀬町	33
9 瀬戸越	34
8 横尾町	36
6 原分町	39
6 赤崎町	39
5 大和町	46
4 花高	56
3 日宇町	57
2 天神	87
1 黒髪町	93

③ 年齢構成

20代	0.5%
30代	0.5%
40代	3.0%
50代	15.0%
60代	45.0%
70代	32.0%
80代以上	4.0%

① 男女比

男性	30%
女性	70%

② 個人と家族比

個人会員	52%
家族会員	4%

家族会員 (3人)

⑤ 市外状況

平戸市	6人
西海市	21人
大村市	1人
諫早市	1人
佐賀県	4人
福岡県	1人
東彼杵郡東彼杵町	10人
東彼杵郡波佐見町	36人
東彼杵郡川棚町	68人
北松浦郡佐々町	61人
松浦市	5人

ふるさと紀行 九十九島の 民話

3

いちりじま かつらじま
「一里島」「桂島」

佐世保工業高等専門学校
澤田 彰

■佐世保港へ一っただけ取り残された島……一里島(丸瀬)——
九十九島で一番若い一里島——

むかしむかし、ある秋のきれいな夜のことでした。月の光をあびて、島たちはのんびりと話をしていました。そこへ、どこからか美しい笛の音が聞こえてきました。それを聞いた大將の松浦島が「どうや、今夜は町へ行つて、久しぶりに酒を飲もうじゃないか」と言いました。そばにいた桂島が、「そりゃ、よかばい。あの美しい笛の音ば聞けば、じつとしとられんたい。」と答えました。

少し離れたところにいた美人の金重島も、髪をくしでとかしながら「私も連れて行って」と言いました。そして、島たちは松浦島を先頭に佐世保港に入っていました。ひさしぶりに町

へ来たので、島たちは酒を飲んだり、歌を歌ったり踊ったりして夜の明けるのも忘れて、大騒ぎをしていました。しかし、大將の松浦島は、夜明けが近づいていることに気づきました。島たちは夜明け前に元の場所へ帰らないと、二度とそこへは帰れなくなってしまうのです。

「おーい。夜の明くつぞーはよー並べ、帰つぞー」

「おおごばい、いそがなば間に合わんぞー」と、みんなは急いで帰る用意をしました。でも、一番若い一里島は、酔っぱらって寝込んでしまっていました。

「一里島、早う起きんば夜の明くつぞー」と仲間が起こそうとしますが、一里島はぜんぜん起きません。「かわいそかばってん、しかたなか、一里島をおいて行こう。」

仲間の島たちは時間がないのでどうすることもできず、あわてて帰って行きました。

こうして、佐世保港の中に一里島だけ、ぼつんと、とり残されています。今でも、たくさん船が通るたびに、一里島は「みんなのところへ帰りたいか」とさびしそうにつぶやいているそうです。

その時から、百あった島が一つ減ったので九十九島と呼ぶようになったと言っています。

■島の形がカツラに似ている桂島

——神功皇后伝説がここにあった——
神功皇后は三韓征伐の時、男装をして出征されたが、無事本土へ凱旋される途中、元の女の姿にもどられるため「カツラ(鬘)」をぬいで海にお捨てになった。そのカツラが南東の風にあおられ、流れ流れて、九十九島に流れ着いた。「カツラ」に似た島が桂島である。

この島にまつわる伝説だが、この話には文字が難しいので、後に鬘島を桂島と書き直したというおまけまでついている。

気のせいか、島の形が「カツラ」に似ている。そんなことから、こんな伝説が生まれたのかもしれない。

上から見ると本物の「カツラ」のように見えると言われています。



事務的だより

●元気をいただきました！

去る5月20日宮川花子さんの講演会、予想通り花子さんのユーモア溢れるしゃべくりで、ほぼ満席の会場が笑い放しの90分でした。ご主人の大助さんがいらっしやらかなったとはいえず、あそこまで言える大助・花子さんの夫婦関係がうらやましくなりました。ひよっとしたら、耳の痛い受講生の方もおられたのではないのでしょうか。今からでも遅くはありません！お互い助け合って、夫婦の在り方の再構築を……！（余計なお世話かも？）

●冷房対策を万全に！

6月の講演会から大ホールが蒸すことが予想されますので、エアコンを入れる予定です。アルカスの最新機器をもつてしても、冷気のコもる1階席とやや高めの3階席、同じ階でも場所による微妙な温度の違いを調節できないとのこと。その上に、人によって体感温度が違うので、ややこし



講演を聴かれた感想をお待ちしています!!

●400字詰原稿用紙1~2枚程度にまとめてお書き下さい。短文でも結構です。掲載分にはささやかですが記念品をお送りします。締め切りは講演日の1週間後(必着)といたします。感動がさめないうちになるべく早く書いてお出し下さい。
●せっかく頂いた原稿でも、紙面の都合上掲載されない場合があります。また、一部省略させていただくこともありますので、ご了承下さい。
あて先は、〒857-0863 佐世保市三浦町4-30 松蔵ビル3F させば夢大学 事務局

当初予定していました講師の日程が変更になりました。

7月22日(木)→11月18日(木)

由美 がおる氏 (交渉中)

心とからだの健康 ~西野流呼吸法~

11月18日(木)→7月22日(木)

中原 英臣氏

医者しか知らない危険な話